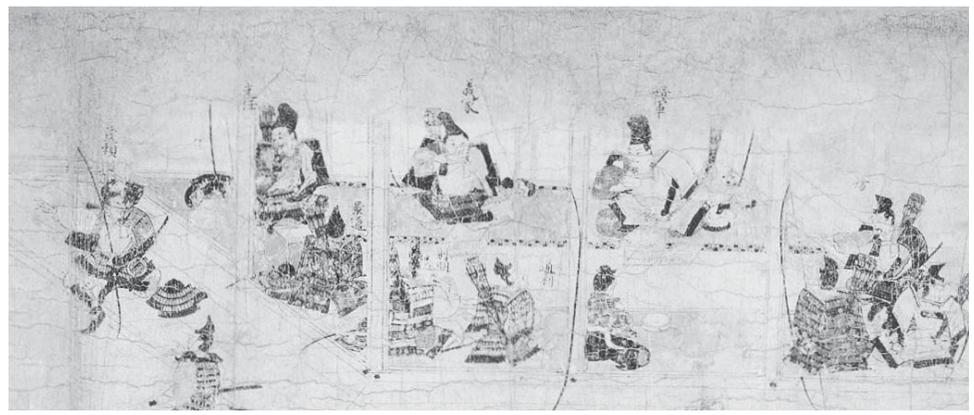


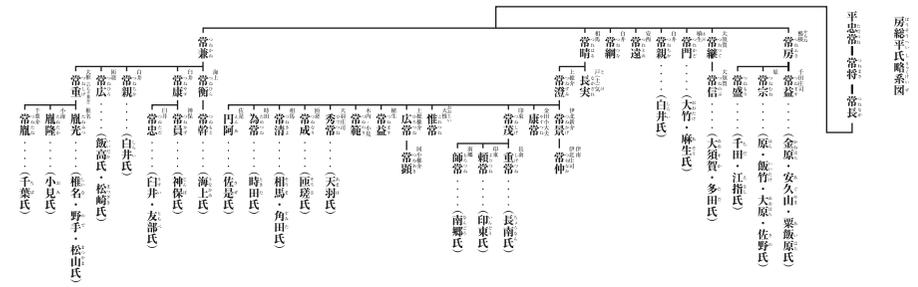
東国の混乱と千葉氏の勃興

両総平氏の成立

平忠常の子孫は、房総半島の上総国や下総国一帯に勢力を広げる一方、源氏に従い「前九年合戦」や「後三年合戦」に参加し、源氏との結びつきを強くします。これを両総平氏と呼びます。両総平氏には、後に千葉氏として発展する大椎氏（千葉市緑区大椎町）、上総氏（千葉県の中中部一帯）、千田氏（千葉県多古町）、大須賀氏（千葉県成田市）、海上氏（銚子市）などがいます。



頼義と義家 『前九年合戦絵巻』より 国立歴史民俗博物館蔵



大椎城航空写真



大椎城跡 千葉市緑区大椎町

平忠常の曾孫である常兼は、大椎権介を称して主に下総国内で勢力を振るった。その本拠地は、大椎城の付近とされている。